

稲葉健二の ひと言メッセージ



稲葉健二後援会
市川市八幡2-2-10
TEL333-1783
FAX334-1990

稲葉健二は、
皆様のご意見・ご要望を
お待ちしております。
お気軽にご連絡ください。

内部討議資料

皆さん、こんにちは。市議会議員の稲葉健二です。明けて2007年、皆様にとって良い年でありますように。さて、12月に開会されました定例会におきまして、一般質問をさせていただきました。関係者の方たちから、真摯にご答弁をいただき、より良い市川に向かって、行政と協力し努力する決意を新たにいたしました。

○商店街活性化支援について

自治会で管理する防犯灯、商店会で管理する街路灯、おそらく市民の皆様には、この街を照らしてくれている照明の違いを細かく理解している方は少ないと思います。実は、自治会で管理する防犯灯の電灯料は10割、市からの補助でなりたっています。商店会で管理する街路灯は、商店会の景観の向上やお客様への宣伝なども兼ねているとの理由で、修繕費・消耗品も含めて十分な補助がなされていないのが現状です。しかし考えてみると、夜、商店が閉店した後も街を照らしてくれている商店会の街路灯、防犯・交通事故防止に大変役立っていると思います。このような公益性を考えて稲葉健二は、商店会の負担の軽減を働きかけて行くつもりです。

また、商店会の売り出し・イベントについてですが、会員の減少による個々の商店の事業費用の負担増や店主の高齢化による事業の担い手不足などにより、先細り状態にあるのが現状です。

活気ある街づくりの中心であり、コミュニティの核となる存在である商店会を元気にするために、現在ある商店街共同事業補助金の制度をもっと有効に活用できるように、補助金額や方策などを含めて努力して行きたいと思っています。



○自治会等集会施設整備等助成事業について

自治会の集会施設ですが、現在自前の土地に建物を建てて利用している自治会、市有地や公有地を借りて建物を建てている自治会、市有財産や行政財産を常時借用している自治会、民間から借り上げている自治会、一切自治会館の設備のない自治会など様々な形態がございます。自治会館は災害の場合の拠点や地域のコミュニケーションの上でも大事です。役員のお宅などを利用して自治会の作業・会議を行なっている自治会も少なくありません。集会施設を持たない自治会からは、不公平だという声も聞こえてきます。毎月、自治会に送られてくる掲示・回覧のための資料などは結構な量になることがあり、仕分けするにも多くの時間と場所が必要になります。その他にも役員会を行うなど、地域における自治会の集会施設の役割は大変大きいと思います。今後、少しでも不公平感をなくすために、例えば借り上げる場合の補助率、補助金を現在の实情にあってない金額から少ない負担で借りることができるラインまで引き上げるなど実際に活用できる制度にして行かないといけないと考えています。

○市川市からの情報を自治会等へ新しい携帯端末等を利用した形で伝達できないか

現在、市川市から市民の皆様への情報の伝達方法は3つあります。一番目が広報いちかわなどによる市民の皆様全員への情報伝達、二番目が回覧板・掲示板による自治会を通じた情報伝達、三番目が市のホームページによる携帯電話やパソコンを利用した情報伝達です。また緊急時には防災行政無線での情報伝達、広報官を地域へ派遣することで情報伝達をするといった状況です。今後は市と自治会の情報伝達のために自治会のホームページを活用するといったことが考えられます。そして、市民の皆様にも広く普及している携帯電話を利用した情報伝達に発展できると思います。市から各自治会のホームページへ情報の配信、それを受けた自治会のホームページは自動的に会員の携帯電話に情報を転送する、将来的にこういった仕組みが構築できれば、大変合理的であり有効であると思います。研究中ではありますが、時代のニーズにあった情報伝達方法、稲葉健二は積極的に取り組んで行くつもりです。



○本八幡A地区市街地再開発事業について

過去に何度か質問させていただいた本八幡A地区市街地再開発事業についてですが、現在の進捗状況と今後の計画について質問いたしました。このA地区はJR本八幡駅、京成八幡駅、都営地下鉄本八幡駅に隣接しているといった、大変恵まれた立地条件の市川市の中心市街地です。このA地区の再開発は、歩行者にやさしい空間や緑地空間の確保、広い歩道空間を持ち、そしてこの開発に伴い、国道14号線・中央通りの拡幅も予定されています。権利者の同意、補助金の問題など課題も少なくありませんが、現在の緊急車両の通行もままならない密集した地域、また、災害時の空地もない状況から、一日も早く安心できる地域として生まれ変われるように考えてゆきたいと思っています。

○八幡小学校前の市道の交通対策について

八幡小学校前の市道の交通対策についてですが、この問題も過去に数回質問いたしました。昨年は5月に市川市では初めての交通社会実験を実施しました。この社会実験の結果をふまえて、自治会の掲示板の移動、ゴミ出し時間の変更などできることから実施したり、今までカラー舗装だけだったものをコーンを置いての実験から可倒式のボールの設置にこぎつけるなど、改善が見られていると思います。そしてこれから先は、京成線の連続立体化も考えつつ、踏切の拡幅などによる改善を最重要課題として、踏切の利用者の方々の利便性、安全性を考え、なおかつ児童が安全に登下校できるような道路になれるように頑張ります。

稲葉健二のホームページもぜひご覧下さい。 <http://inaba-kenji.jp> です。

メールのアドレスは、 kenjiinaba@aol.com です。何かありましたら、遠慮なくご連絡下さい。

市議会のホームページから、稲葉健二の一般質問の録画をご覧になれます。下記のアドレスにお進み下さい。

<http://vod.city.ichikawa.chiba.jp/mbase/asset/gikai/20061211pm1.rm> (前半は別の議員の方です)